

### 淡路島観光協会設立 観光事業を一本化

淡路島全域を対象にした観光事業を展開しようと「淡路島観光協会」が4月1日、(財)淡路島くにうみ協会内に発足しました。これにより、島内の観光事業が一本化されます。

島内には、これまで各市観光協会など5つの観光団体がありましたが、それぞれが独自に事業を行っており、連携が十分でなかったことから、一体的な取り組みを望む声がありました。

そのような折、一昨年に観光庁が淡路島を観光圏に認定。自治体間の枠を超え、国際競争力の高い魅力ある観光地を目指すことになりました。これを受け、関係団体が組織再編のための部会を設立。議論を重ね、一気に統合への動きが加速されました。

同協会では今後、島内各地の観光資源を総合的にPRする事業など、観光客と同じ「淡路島は一つである」という目標で事業展開する予定。淡路島を全国ブランドで売り出し、多彩で豊富な観光・交流資源を活用していきたいとしています。また、地域経済の低迷を背景に、経済波及効果の高い、滞在型観光なども視野に活動を行うとしています。

### 神宮寺庭園、県指定文化財に

兵庫県教育委員会は3月5日、沼島の「神宮寺庭園」を県指定重要文化財に指定しました。この庭園は、近世初頭の作庭で、裏山の急傾斜を利用し、岩盤を取り込んで構成した築山式枯山水庭園です。沼島特有の結晶片岩を「人」字形に組み合わせる多用途の技法は、鑑賞上の効果に加え、独特の高い技術力もうかがえ、庭園史上、非常に価値の高い庭園として認められました。



▲神宮寺庭園

### ひろみちお兄さんと親子体操

親子で楽しく遊ぼうと3月14日、市文化体育館で「ゆるるんフェスティバル」を開催しました。

保育所(園)・幼稚園の保護者会や子育て学習センター、ファミリーサポートくらぶでつくる「子育て力向上推進協議会」が企画する初めてのイベントで、市内就学前の子どもと保護者約700組2000人が参加。NHK教育テレビ「おかあさんといっしょ」の元体操のお兄さんとして知られる佐藤弘道さんが



▲ひろみちお兄さんと会長の稲井良俊さん・歩美ちゃん親子も舞台上で親子体操に挑戦



▲お父さんやお母さんの膝の上に乗って、バランス力チェック! 子どもたちは大喜びでした

また、会場の外では防災・交通安全の意識を高めてもらうと、はしご車や救急車、パトカー、白バイに身近に触れてみたり、煙体験を行いました。普段近くで見ることのない乗り物に、子どもたちは大喜びです。

▲なでしこ分団員に防火服を着せてもらい消防士に変身!!

行政改革審議会(志智宣夫委員長)が3月10日、第2次南あわじ市行政改革大綱策定にかかる答申書を中田市長へ手渡しました。

同審議会は、昨年7月に市長から諮問を受け、計5回の審議会を開催。慎重な審議が重ねられ、このたび、答申書としてまとめられました。

今後審議会では、改革実施の進捗状況等の協議が行われます。



▲答申書を中田市長に手渡す志智委員長(左)と木田副委員長(中央)

### 知事と「さわやかトーク」



▲淡路三原高校、三原中学校、南淡中学校、市小学校の各郷土部、福井子供会、淡路人形浄瑠璃青年研究会、淡路人形芸舞組、淡路人形座が知事と意見交換

井戸知事と淡路人形浄瑠璃後継者団体が自由に意見を交わす「淡路さわやかトーク」が3月20日、淡路三原高校で行われました。参加は、市内で練習を重ね、島内外で活動している小中高生や社会人の7団体と淡路人形座の座員。意見交換では、自身が始めたきっかけや人形浄瑠璃への思いなどを伝えました。

井戸知事は、語りの意味や演目のストーリーを理解してもらうためにも、共同のホームページを作ってはどうかなど、南あわじ市と西宮とれり市との提案をし、「情熱を持って取り組まれ、それぞれの立場で普及活動を続けられていることがよくわかった。支えるすそ野が広がれば水準も高くなる。人形会館もできる。頑張ってください」と参加者にエールを送りました。



▲高校生と「人形遣い」を体験する井戸知事

### 西宮で地元産品販売と文化交流



▲振舞われたウマツラハギの味噌汁。雨にもかかわらずたくさんの方が訪れました

淡路人形でゆかりのある西宮市で、魚や野菜を販売する「南あわじ&西宮とれり市」が3月6日、西宮中央商店街で開催されました。

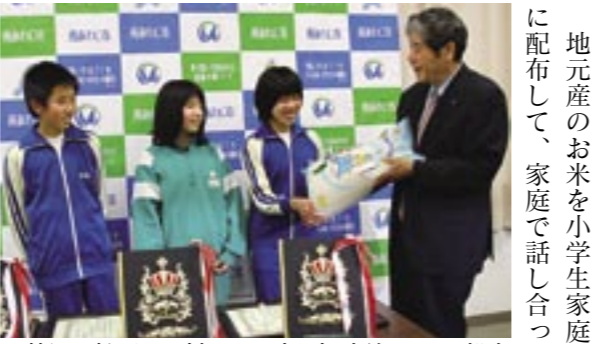
南あわじ市からは、沼島漁協と幡多の青空市が出店。「ウマツラハギの味噌汁」「サヨリとイカの塩焼き」などの漁師料理の振舞いのほか、新鮮な地元産の野菜や魚を販売しました。

同商店街は、えべっさんの総本社、西宮神社の周辺に位置します。商店街にある戎座人形芝居館前では、淡路人形浄瑠璃青年研究会と西宮の高校生が戎舞で交流。そのほか、三原だんじり唄保存会青年部がだんじり唄を披露し、観客から大きな拍手をあげました。



▲披露された戎舞

### 「お米を食べよう市民運動」作文表彰



▲特選の眞野さん(左から3人目)、宇治田さん、松本君。2月26日、市役所中央庁舎で表彰式を行いました

地元産のお米を小学生家庭に配布して、家庭で話し合っただけで書いた作文を募集しました。各学校で3点ずつ選ばれた中から、優秀作品を選考しました。

※特選3点、優秀賞14点

市長賞||眞野智尋(市小)

議長賞||宇治田幸(松帆小)

JAあわじ島組合長賞||松本侑也(市小)

優秀賞||霊元和久(倭文小)、船越一希(松帆小)、池田昂生(湊小)、濱田紗希(辰美小)、中田勇輝(西淡志知小)、新居直子(榎列小)、福山夏美(八木小)、古川歩実

### 17人が受賞

(市小)、新居杏香(神代小)、豊原鈴(三原志知小)、柏木大直(賀集小)、仲村祐花(北阿万小)、鈴木竜希(阿万小)、山口真央(灘小)

### 寄附

3月3日、福良不動講代表の内海寛信(信太郎)さんが市役所緑庁舎を訪れ、「福祉に役立ててください」と現金12万円を寄附されました。

市ではこれら貴重な寄附を有効に活用させていただきます。ありがとうございます。

### ふるさと納税

(寄附ありがとつございました。)

ふるさと南あわじ応援寄附金		
寄附状況の公表 (3月16日現在)		
区分	件数	金額
南あわじ市内	328件	43,923,219円
市外(島内)	47件	5,871,000円
市外(島外)	198件	27,004,940円
合計	573件	76,799,159円

※詳細は市のホームページに掲載しています。